

# 舟運で栄えた町「那珂湊」 町並み散策マップ

那珂湊は古くから港町として栄えてきた町です。江戸時代には東北地方の米や物資を江戸まで輸送する水上交通(東廻り航路)の拠点として、水戸藩内で最も繁栄している地といわれた程度です。那珂川から涸沼へ遡り、一部陸路を経て、北浦や霞ヶ浦から江戸へと再び舟で物資が運ばれていったのです。

しかし、幕末の水戸藩内の抗争(元治甲子の乱)において、那珂湊は最大の激戦場となり貴重な人物や家屋の大半を失い、著名な建物や神社仏閣はことごとく炎上または破壊されました。さらに、昭和22年には大火にみまわれ市街地の大半が消失してしまいました。

現在では建て替えも進み、その数は少なくなっていますが、当時の繁栄の面影が随所に見られます。

このコース(約3km、約1時間)では、歴史ある町にのみ存在する当時の栄華を極めた家並みや、懐かしい路地裏が見られます。

町の中をゆっくり散歩して、タイムスリップしてみませんか。

## 明石屋 安源七商店



建築時期：大正初期(店舗)  
昔：刻み煙草包装紙の印刷  
現在：カダ、うちわ、せんす  
不定休

## あさ川那珂湊店



建築時期：明治中期(店舗)  
昔：醤油の醸造、販売  
現在：和菓子屋  
不定休

## 八長味噌醤油工場



建築時期：明治時代?(店舗)  
昔：味噌、醤油、麴の製造、販売  
現在：味噌、醤油、麴の製造、販売  
日曜日は休み(中元時期、年末は除く)

## 米六本店



建築時期：慶応3年(店舗)  
昔：酒の製造、販売  
現在：酒の販売  
不定休

これらのお店では、この町の歴史や、お店の昔話、建物の説明などを聞くことができます。気軽にお店の人に声をかけて下さい。いろいろと教えてくださいますよ。これらのお店は、いわゆる「まちかど博物館」なのです。



安政4年(1857)に完成した水戸藩営大砲鋳造所。オランダの技術により大型金属溶解炉が2基建設され、20数門の大砲が鋳造された。元治元年(1864)の騒乱で破壊されたが、昭和12年に復元された。



土蔵を利用し整備した資料館。漁業関係の展示が充実。お魚市場からも近いです。